



Brand new phase of Soot Blower



EXPLOSION POWER社製 圧力波式スートブロワSPGr

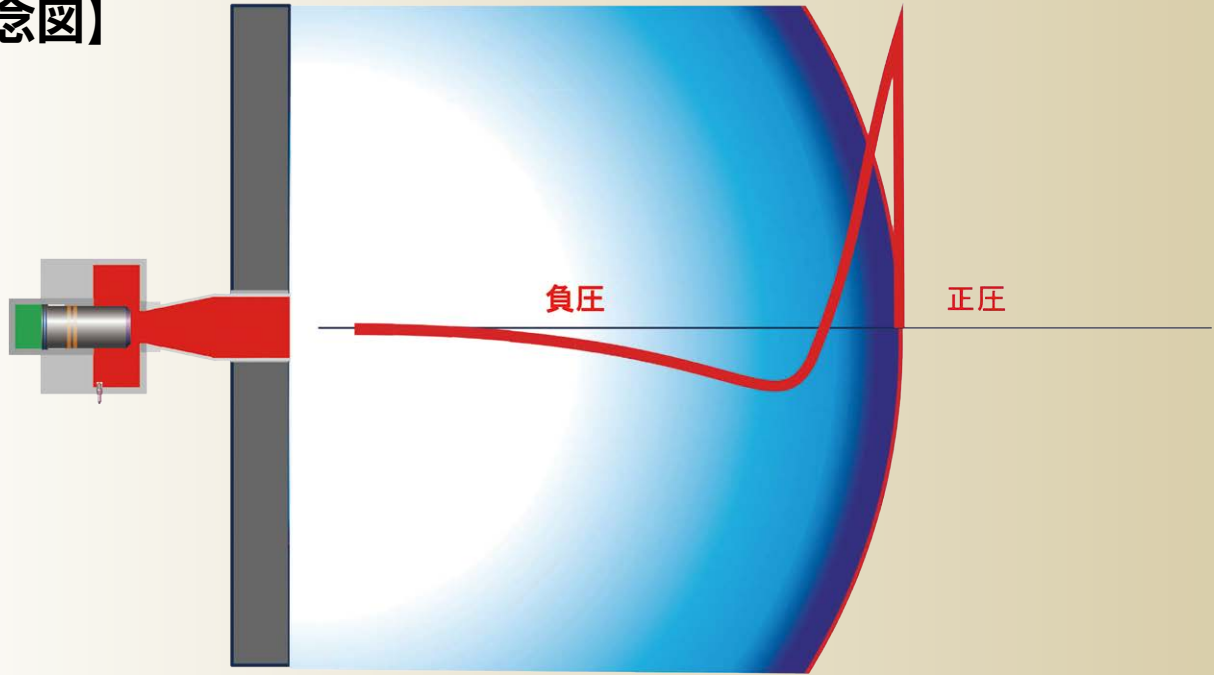
Shock Pulse Soot Blower



MIKUNI KIKAI KOGYO CO.,LTD.

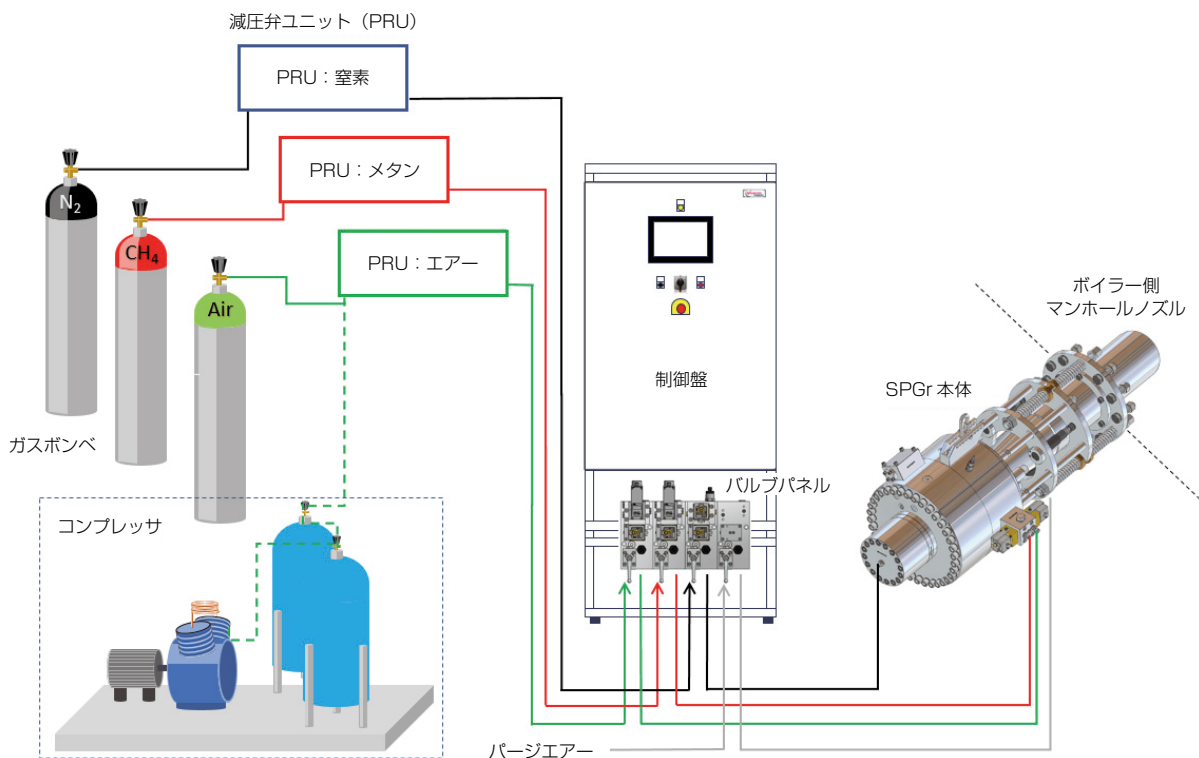
機器構成

【概念図】



圧力波式スートブロワSPGrは、天然ガス/メタンガスと圧縮空気の混合気体を点火する事により、圧力波を生じさせます。この圧力波がボイラ側へ伝播し、ボイラ内の内壁及び配管表面に微細な振動をもたらし、表面の堆積物、灰を効果的に取り除きます。

【構成図】



設置例



マンホールに設置した圧力波式スートブロワ



最大8台制御可能の制御盤「SPC800」



エアークOMPレッサ



各種ガスボンベと圧力制御ユニットの設置例

Shock Pulse

適用範囲、導入メリット

適用範囲

- 焼却炉(一般ゴミ、スラッジ、産業廃棄物)
- バイオマスボイラ
- 石炭焚き/重油焚きボイラ
- 製鉄所/製錬所
- 製紙工場



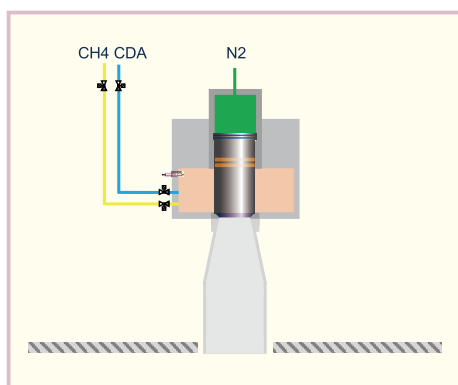
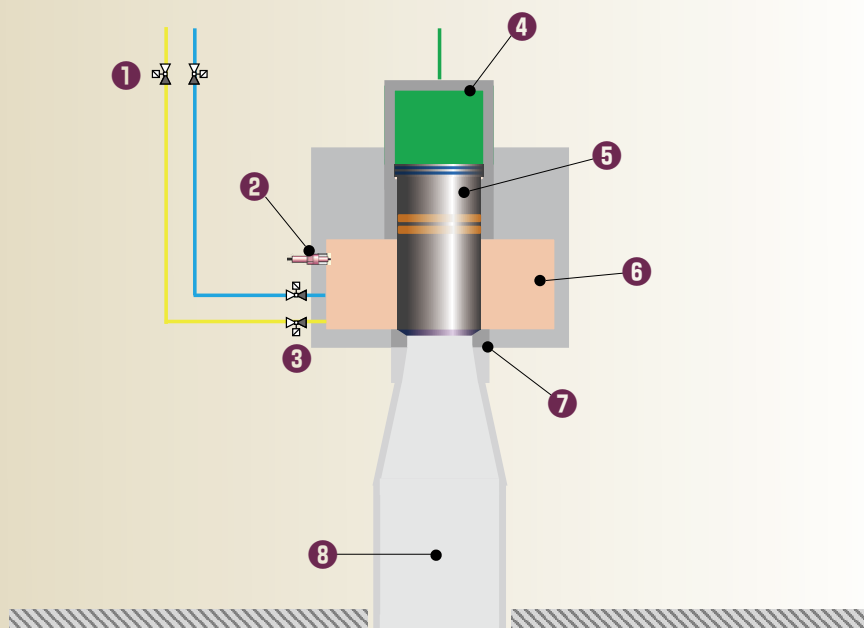
導入メリット

- コンパクト且つ変動要因に左右されにくい設計
- 移設が容易
- 従来技術と比べ、クリーニング能力向上
- ボイラ配管部分の熱によるダメージの解消
- 排出温度低減によるボイラ効率改善
- ボイラ運転時間の延長が可能
- メンテナンス業務の軽減
- 蒸気の消費ゼロ→温度降下極小
→発電効率の向上
- プラント全体の性能向上

Soot Blower

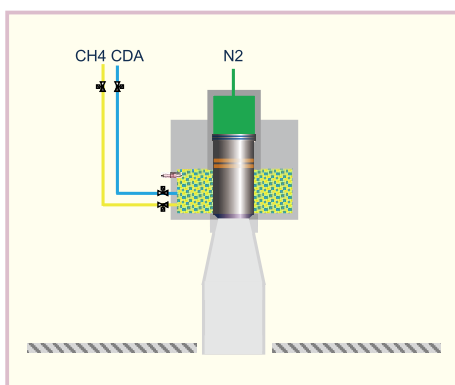
機器構成

- ① バルブパネル側バルブ
- ② 点火プラグ
- ③ 充填電磁弁
- ④ アキュムレーター
- ⑤ ピストン
- ⑥ 燃焼シリンダー
- ⑦ バルブシート
- ⑧ 排出ノズル



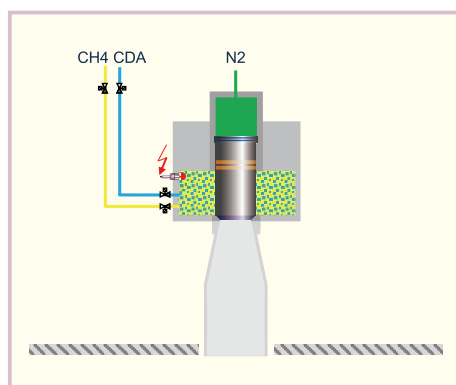
0 待機状態

燃焼シリンダーは空の状態では窒素ガスで押されたピストン及びバルブシートで気密性を保っています。この状態から制御盤からの信号で一連のサイクルがスタートします。



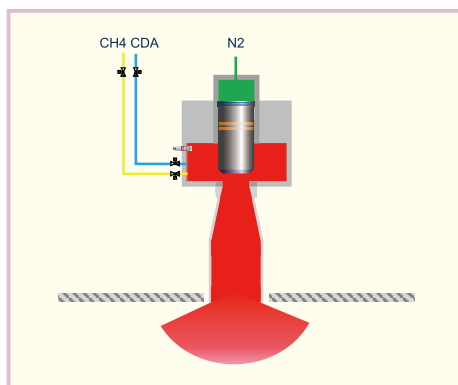
1 充填・混合

供給用の各電磁弁が開き、設定された圧力まで注入されます。



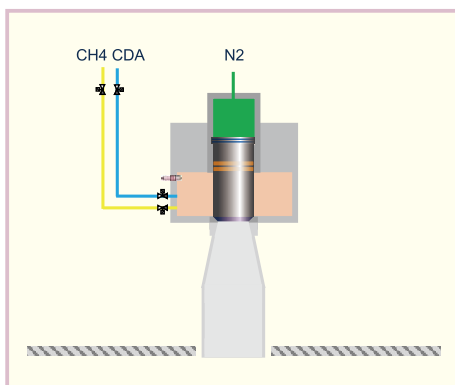
2 点火

ピストンが開き、グロープラグが起動、圧力波を発生させます。



3 圧力波の放出

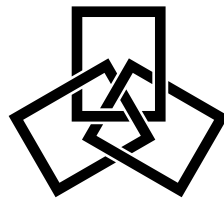
排出ノズルから放たれた圧力波は球状に伝播し、ボイラ内の各部表面及び付着物に振動を与えます。



4 待機状態へ

圧力波の放出後、ピストンは窒素ガスに押し戻され、閉じます。これで一連のサイクルは終了し、次の圧力波放出への待機状態になります。

CH4 : メタン
CDA : 圧縮空気
N2 : 窒素



システムオルガナイザー
三國機械工業株式会社

本社 〒130-0026 東京都墨田区両国3-19-11
Tel.03-5624-6392(代表) Fax.03-5624-6393

日立営業所 〒317-0072 茨城県日立市弁天町1-8-7
Tel.0294-22-0392(代表) Fax.0294-22-3715

大阪営業所 〒530-0041 大阪市北区天神橋3-3-3
Tel.06-6242-4334(代表) Fax.06-6351-6625

MIKUNI KIKAI KOGYO CO.,LTD.

Head Office
3-19-11, Ryogoku, Sumida-ku, Tokyo 130-0026, Japan

Telephone +81-3-5624-6392

Telfax +81-3-5624-6393



www.mikunikikai.jp

